

5 学校教育系施設

(1) 学校施設

学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 38 条及び第 49 条の規定に基づき、小学校 12 校（宇和町地域 6 校、野村町地域 3 校、明浜町・城川町・三瓶町地域各 1 校）、中学校 5 校（明浜町・宇和町・野村町・城川町・三瓶町地域各 1 校）の計 17 校を設置しています。

ア 施設概要（経過年数は令和 4（2022）年 3 月 31 日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元（2019）年度の実績。）

番号	地域	地区	施設名	基本情報													
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)	耐震性	貸室稼働率 (%)	管理運営	職員数 (人)	支出 (千円)	収入 (千円)	児童・生徒数 / 学級数	備考	施設番号
1	明浜	俵津	明浜小学校		RC	2015	7	4,172.95	○	-	直営	県13・嘱1	7,823	0	77人/7学級	空調工事費用等除く	300
2	宇和	多田	多田小学校		RC	1982	40	2,550.00	○	-	直営	県9・嘱1	7,026	0	60人/8学級	空調工事費用等除く	301
3	宇和	中川	中川小学校		RC	1980	42	2,522.00	○	-	直営	県16・正1	12,748	0	145人/8学級	空調工事費用等除く	302
4	宇和	石城	石城小学校		RC	1979	43	2,583.00	○	-	直営	県12・正1	12,423	0	61人/7学級	空調工事費用等除く	303
5	宇和	宇和	宇和町小学校		RC	1989	33	6,349.00	○	-	直営	県57・正1・嘱1	20,086	0	476人/20学級	空調工事費用等除く	304
6	宇和	皆田	皆田小学校		RC	1970	52	2,374.00	○	-	直営	県19・嘱1	8,193	0	84人/8学級	空調工事費用等除く	305
7	宇和	田之筋	田之筋小学校		RC	1981	41	2,515.00	○	-	直営	県13・嘱1	6,520	0	74人/7学級	空調工事費用等除く	307
8	野村	野村	野村小学校		RC	1979	43	6,752.13	○	-	直営	県29・正1・嘱1	20,054	0	309人/14学級	空調工事費用等除く	308
9	野村	惣川	惣川小学校		W	2004	18	1,578.00	○	-	直営	県5・嘱1	6,988	0	6人/3学級	空調工事費用等除く	309
10	野村	大野ヶ原	大野ヶ原小学校		W	2008	14	1,053.00	○	-	直営	県4・嘱1	5,473	0	9人/3学級	空調工事費用等除く	310
11	城川	魚成	城川小学校		W	2006	16	3,981.00	○	-	直営	県13・嘱1	8,936	0	87人/8学級	空調工事費用等除く	311
12	三瓶	三瓶	三瓶小学校		RC	2014	8	6,442.95	○	-	直営	県23・正1・嘱1	18,628	0	222人/10学級	空調工事費用等除く	312
13	明浜	俵津	明浜中学校		RC	1988	34	4,808.59	○	-	直営	県15・嘱1	7,599	0	45人/4学級	空調工事費用等除く	313
14	宇和	宇和	宇和中学校		RC	1963	59	10,415.00	○	-	直営	県50・嘱2	19,421	0	458人/15学級	空調工事費用等除く	314
15	野村	野村	野村中学校		RC	1972	50	8,576.75	○	-	直営	県31・正1・嘱1	20,274	0	171人/8学級	空調工事費用等除く	315
16	城川	魚成	城川中学校		RC	2000	22	5,766.00	○	-	直営	県16・嘱1	9,077	0	57人/5学級	空調工事費用等除く	316
17	三瓶	三瓶	三瓶中学校		RC	1976	46	8,470.00	○	-	直営	県21・嘱1	13,553	0	119人/6学級	空調工事費用等除く	317

職員数：県＝県費負担職員、正＝市任用正規職員 嘱＝市任用嘱託職員

イ 現状と課題

小中学校は、原則、毎週日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、西予市公立学校管理規則第 4 条に規定する休業日を除き、毎日授業を実施しています。

学校の校舎・体育館は、耐震補強工事の実施を含め全て耐震対策を講じていますが、建築後 35 年を経過し老朽化が進んでいる校舎・体育館が、小学校で 18 施設、中学校で 14 施設となっています。

小中学校の校舎トイレの洋式化率は市全体で約 42%（2020（令和 2）年度末現在、職員用トイレを除く）となっており、年次計画により段階的に改修を進めています。また、エアコンは、大野ヶ原小学校以外の小中学校の普通教室、一部を除く特別教室、保健室、校長室、職員室（2020（令和 2）年度末現在）に設置しています。このほか、一部を除いて小中学校には 25m プールを設置しており、概ね 5 月中旬から 8 月中旬まで（宇和中学校は 5 月中旬から 10 月中旬まで）使用しています。

学校の管理運営は直営で、管理運営に係る主な費用は、光熱水費、使用料及び賃借料、修繕費、人件費（市職員のみ）で、令和元年度では総額約 204,822 千円（空調工事費用等除く）と

なっています。学校の教職員と事務職員は県費負担で、市が任用する職員は校務員で、正規職員、非常勤職員を配置しています。

各学校とも授業で普通教室・特別教室・体育館・グラウンドを使用していますが、体育館・グラウンドについては、学校の運営に支障のない範囲で社会体育施設として開放しています。また、多くの学校が指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されています。

【各施設の状況】

1 明浜小学校

校舎と体育館、倉庫を設置し、合計延床面積は4,172 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設していますが、体育館は老朽化が進んでいます。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎	鉄筋コンクリート造4階建	2,839	2015(平成27)年	7年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	1,308	1983(昭和58)年	39年

普通教室7室（特別支援教室1室含む）、特別教室9室（理科室・音楽室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室2室・教育相談室）を使用し、人件費を含む管理運営費7,823千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度の統合時は90人でしたが、2019(令和元)年度には77人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和8)年度には88人になると見込まれています。

1 明浜小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	90	77	88
普通教室の推移	7(1)	7(1)	6
特別教室の推移	8	9	10

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

2 多田小学校

校舎、体育館、体育倉庫などを設置し、合計延床面積は2,550 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設していますが、老朽化が進んでいます。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
管理教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,750	1982(昭和57)年	40年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	680	1983(昭和58)年	39年

普通教室8室（特別支援教室2室含む）、特別教室6室（理科室・音楽室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・教育相談室）を使用し、人件費を含む管理運営費7,026千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度に67人でしたが、2019(令和元)年度には60人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和8)年度には32人になると見込まれています。

2 多田小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	67	60	32
普通教室の推移	7(2)	8(2)	4
特別教室の推移	7	6	10

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

3 中川小学校

校舎、体育館、体育倉庫などを設置し、合計延床面積は2,522 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。校舎は旧耐震基準で建設し、2012(平成24)年度に耐震改修工事を実施していますが老朽化が進んでいます。体育館は新耐震基準で建設していますが、老朽化が進んでいます。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
管理教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,750	1980(昭和55)年	42年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	680	1983(昭和58)年	39年

普通教室8室（特別支援教室2室含む）、特別教室6室（理科室・音楽室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・教育相談室）を使用し、人件費を含む管理運営費12,748千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度に137人でしたが、2019(令和元)年度には145人となり、全ての学年で単学級となっています。2026(令和8)年度には118人になると見込まれています。

3 中川小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	137	145	118
普通教室の推移	8(2)	8(2)	7(1)
特別教室の推移	5	6	7

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

4 石城小学校

校舎、体育館、体育倉庫などを設置し、合計延床面積は2,583 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも旧耐震基準で建設し、2011(平成23)年度に耐震改修工事を実施していますが老朽化が進んでいます。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
管理教室棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,797	1979(昭和54)年	43年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	680	1981(昭和56)年	41年

普通教室7室（特別支援教室1室含む）、特別教室5室（理科室・音楽室・家庭科室・コンピュータ室・図書室）を使用し、人件費を含む管理運営費12,423千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度に84人でしたが、2019(令和元)年度には61人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和8)年度には55人になると見込まれています。

4 石城小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	84	61	55
普通教室の推移	7(1)	7(1)	5
特別教室の推移	6	5	7

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

5 宇和町小学校

校舎、体育館、倉庫などを設置し、合計延床面積は6,349 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	3棟合計5,000	1989(平成元)年	33年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	1,049	1988(昭和63)年	34年

普通教室20室（特別支援教室3室含む）、特別教室11室（理科室2室・音楽室2室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室2室・教育相談室）を使用し、人件費を

含む管理運営費 20,086 千円を支出しています。児童数は、2015(平成 27)年度に 480 人でしたが、2019(令和元)年度には 476 人で、すべての学年で複数学級となっています。2026(令和 8)年度には 377 人になると見込まれています。

5 宇和町小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	480	476	377
普通教室の推移	18(2)	20(3)	14(1)
特別教室の推移	14	11	17

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

6 皆田小学校

校舎、体育館、体育倉庫などを設置し、合計延床面積は 2,374 m² (主な施設の構成は以下のとおり)。校舎 2 階建て部分は旧耐震基準で建設し、2010(平成 22)年度に耐震改修工事を実施していますが老朽化が顕著となっています。校舎 3 階建て部分と体育館は新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
教室棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	806	1970 (昭和 45) 年	52 年
教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	792	1984 (昭和 59) 年	38 年
体育館	鉄筋コンクリート造 2 階建	680	1984 (昭和 59) 年	38 年

普通教室 8 室 (特別支援教室 2 室含む)、特別教室 6 室 (理科室・音楽室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室) を使用し、人件費を含む管理運営費 8,193 千円を支出しています。児童数は、2017(平成 29)年度の統合時は 99 人でしたが、2019(令和元)年度には 84 人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 63 人になると見込まれています。

6 皆田小学校	2017年度 (平成29年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	99	84	63
普通教室の推移	8(2)	8(2)	6
特別教室の推移	7	6	8

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

7 田之筋小学校

校舎、体育館、器具庫などを設置し、合計延床面積は 2,515 m² (主な施設の構成は以下のとおり)。校舎は旧耐震基準で建設し 2012(平成 24) 年度に耐震改修工を実施していますが、老朽化が進んでいます。体育館は新耐震基準で建設し、老朽化が進んでいます。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,750	1981 (昭和 56) 年	41 年
体育館	鉄筋コンクリート造 2 階建	680	1981 (昭和 56) 年	41 年

普通教室 7 室 (特別支援学級 1 室含む)、特別教室 9 室 (理科室・音楽室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室 2 室・特別活動室・教育相談室) を使用し、人件費を含む管理運営費 6,520 千円を支出しています。児童数は、2015(平成 27)年度に 75 人でしたが、2019(令和元)年度には 74 人となり、全ての学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 82 人になると見込まれています。

7 田之筋小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	75	74	82
普通教室の推移	6	7(1)	7(1)
特別教室の推移	8	9	9

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

8 野村小学校

校舎、体育館、給食室、体育倉庫棟などを設置し、合計延床面積は 6,752 m² (主な施設の構成は以下のとおり)。校舎3棟のうち2棟と体育館は旧耐震基準で建設し、校舎は2012(平成24)年度に耐震改修工事、2013(平成25)年度に大規模改修工事を、体育館は2011(平成23)年度に耐震改修工事、2015(平成27)年度に大規模改修工事を実施していますが、老朽化が進んでいます。校舎のもう1棟は新耐震基準で建設しています。給食室は旧耐震基準で建設し、2020(令和2)年度のせいよ東学校給食センター建設に伴い、給食配膳室として活用しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
特別教室棟・管理棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,317	1979(昭和54)年	43年
普通教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,239	1979(昭和54)年	43年
普通教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,669	2015(平成27)年	7年
体育館	鉄筋コンクリート造2階建	1,075	1979(昭和54)年	43年
給食室	鉄筋コンクリート造1階建	150	1980(昭和55)年	42年

普通教室14室(特別支援教室2室含む)、特別教室12室(理科室・音楽室2室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室4室・教育相談室)を使用し、人件費を含む管理運営費20,054千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度の統合時は336人でしたが、2019(令和元)年度には309人で、すべての学年で複数学級となっています。2026(令和8)年度には196人になると見込まれています。

8 野村小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	336	309	196
普通教室の推移	14(2)	14(2)	9(1)
特別教室の推移	13	12	17

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

9 惣川小学校

校舎、体育館、給食室、プール専用付属室を設置し、合計延床面積は1,578 m² (主な施設の構成は以下のとおり)。いずれも新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎	木造2階建	852	2004(平成16)年	18年
体育館	木造1階建	546	2004(平成16)年	18年
給食室	木造1階建	79	2004(平成16)年	18年

普通教室3室(特別支援教室なし)、特別教室7室(理科室・音楽室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室2室)を使用し、人件費を含む管理運営費6,988千円を支出しています。児童数は、2015(平成27)年度は3人、2019(令和元)年度には6人で複式学級となっています。2026(令和8)年度には4人になると見込まれています。

9 惣川小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	3	6	4
普通教室の推移	3(1)	3	2
特別教室の推移	7	7	8

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

10 大野ヶ原小学校

校舎、体育館、給食室などを設置し、合計延床面積は1,053 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎	木造 1 階建	497	2008 (平成 20) 年	14 年
体育館	鉄骨造 1 階建	520	1984 (昭和 59) 年	38 年
給食室	木造 1 階建	36	2008 (平成 20) 年	14 年

普通教室 3 室（特別支援教室なし）、特別教室 5 室（理科室・音楽室・家庭科室・図書室・特別活動室）を使用し、人件費を含む管理運営費 5,473 千円を支出しています。児童数は、2015(平成 27)年度は 3 人、2019(令和元)年度には 9 人で複式学級となっています。2026(令和 8)年度には 9 人になると見込まれています。

10 大野ヶ原小学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	3	9	9
普通教室の推移	3	3	3
特別教室の推移	5	5	5

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

11 城川小学校

校舎、体育館、給食室、プール専用付属室などを設置し、合計延床面積は 3,981 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。給食棟は 2020(令和 2)年度のせいよ東学校給食センター建設に伴い、給食配膳室として活用しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
校舎	木造 2 階建	2,799	2006 (平成 18) 年	16 年
体育館	鉄筋コンクリート造 2 階建	697	1985 (昭和 60) 年	37 年
給食室	鉄筋コンクリート造 1 階建	172	2006 (平成 18) 年	16 年

普通教室 8 室（特別支援教室 2 室含む）、特別教室 7 室（理科室・音楽室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・教育相談室）を使用し、人件費を含む管理運営費 8,936 千円を支出しています。児童数は、2016(平成 28)年度の統合時は 102 人でしたが、2019(令和元)年度には 87 人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 67 人になると見込まれています。

11 城川小学校	2016年度 (平成28年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	102	87	67
普通教室の推移	8(2)	8(2)	6
特別教室の推移	9	7	9

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

12 三瓶小学校

校舎、体育館、プール付属室など設置し、合計延床面積は 6,442 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
普通教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,673	2014 (平成 26) 年	8 年
管理特別教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,130	2014 (平成 26) 年	8 年
体育館	鉄筋コンクリート造 1 階建	1,150	1998 (平成 10) 年	24 年

普通教室 10 室（特別支援教室 1 室含む）、特別教室 13 室（理科室・音楽室・図工室・家庭科室・コンピュータ室・図書室・特別活動室 5 室・教育相談室 2 室）を使用し、人件費を含む管理運営費 18,628 千円を支出しています。児童数は、2014(平成 26)年度の統合時は 272 人でしたが、2019(令和元)年度には 222 人に減少し、一部の学年（1 年、2 年、4 年）で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 142 人になると見込まれています。

12 三瓶小学校	2014年度 (平成26年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	272	222	142
普通教室の推移	14(3)	10(1)	6
特別教室の推移	15	13	17

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

13 明浜中学校

校舎、体育館、地域学校連携施設、プール専用付属室などを設置し、合計延床面積は 4,808 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m ²)	建築年	経過年数
教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,740	1988 (昭和 63) 年	34 年
体育館	木造 2 階建	1,289	2002 (平成 14) 年	20 年
地域学校連携施設	木造 2 階建	230	2002 (平成 14) 年	20 年

普通教室 4 室（特別支援教室 1 室含む）、特別教室 12 室（理科室・音楽室・美術室・技術室・家庭科室 3 室・コンピュータ室・図書室・特別活動室 2 室・教育相談室）を使用し、人件費を含む管理運営費 7,599 千円を支出しています。生徒数は、2015(平成 27)年度に 60 人でしたが、2019(令和元)年度には 45 人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 43 人になると見込まれています。

13 明浜中学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	60	45	43
普通教室の推移	5(2)	4(1)	4(1)
特別教室の推移	13	12	12

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

14 宇和中学校

校舎、体育館などを設置し、合計延床面積は 10,415 m²（主な施設の構成は以下のとおり）。教室棟、特別教室 1 棟、管理教室棟は旧耐震基準で建設し、2010(平成 22)年度に耐震改修工事を実施していますが老朽化が進んでいます。そのほかの建物は新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,316	1963 (昭和 38) 年	59 年
教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,322	1964 (昭和 39) 年	58 年
特別教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,043	1986 (昭和 61) 年	36 年
特別教室棟	鉄骨造 1 階建	548	1968 (昭和 43) 年	54 年
管理教室棟	鉄筋コンクリート 2 階建	1,349	1966 (昭和 41) 年	56 年
体育館	木造 2 階建	2,458	2010 (平成 22) 年	12 年

普通教室 15 室 (特別支援教室 3 室含む)、特別教室 28 室 (理科室 3 室・音楽室 2 室・美術室 2 室・技術室 3 室・家庭科室 2 室・図書室・特別活動室 11 室・教育相談室 2 室・コンピュータ室・進路指導室) を使用し、人件費を含む管理運営費 19,421 千円を支出しています。生徒数は、2015(平成 27)年度に 457 人、2019(令和元)年度には 458 人で、全ての学年で複数学級となっています。2026(令和 8)年度には 415 人になると見込まれています。

14 宇和中学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	457	458	415
普通教室の推移	14(2)	15(3)	15(3)
特別教室の推移	27	28	28

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

15 野村中学校

校舎、体育館、給食室、部室などを設置し、合計延床面積は 8,576 ㎡ (主な施設の構成は以下のとおり)。いずれも旧耐震基準で建設し、2000(平成 12)年度に耐震改修工事を実施していますが、老朽化が顕著となっています。給食室は 2020(令和 2)年度のせいよ東学校給食センター建設に伴い、相撲練習場として活用しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
特別教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,203	1972 (昭和 47) 年	50 年
普通教室棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	2,079	1972 (昭和 47) 年	50 年
技術棟	鉄骨造 1 階建	446	1972 (昭和 47) 年	50 年
管理棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,214	1972 (昭和 47) 年	50 年
体育館	鉄骨造 2 階建	1,770	1973 (昭和 48) 年	49 年
給食室	鉄骨造 1 階建	150	1972 (昭和 47) 年	50 年

普通教室 8 室 (特別支援教室 2 室含む)、特別教室 26 室 (理科室 2 室・音楽室 2 室・美術室・技術室 3 室・家庭科室 2 室・コンピュータ室・図書室・特別活動室 9 室・教育相談室 4 室・進路指導室) を使用し、人件費を含む管理運営費は 20,274 千円です。

生徒数は、2015(平成 27)年度に 180 人でしたが、2019(令和元)年度には 171 人となり、すべての学年で複数学級となっています。2026(令和 8)年度には 150 人になると見込まれています。

15 野村中学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	180	171	150
普通教室の推移	7(1)	8(2)	8(2)
特別教室の推移	29	26	26

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

16 城川中学校

校舎、体育館、柔剣道場、給食室、部室などを設置し、合計延床面積は 5,766 ㎡ (主な施設の構成は以下のとおり)。いずれも新耐震基準で建設しています。給食室は 2020(令和 2)年度のせいよ東学校給食センター建設に伴い、給食配膳室として活用しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
教室・給食棟	鉄筋コンクリート造 2階建	1,833	2000 (平成 12) 年	22 年
教室棟	鉄筋コンクリート造 2階建	1,405	2000 (平成 12) 年	22 年
管理棟	鉄筋コンクリート造 1階建	471	2000 (平成 12) 年	22 年
体育館	鉄筋コンクリート造 1階建	1,142	2000 (平成 12) 年	22 年
柔剣道場	鉄筋コンクリート造 1階建	467	2000 (平成 12) 年	22 年
給食室	鉄筋コンクリート造 1階建	169	2000 (平成 12) 年	22 年

普通教室 5 室 (特別支援教室 2 室含む)、特別教室 11 室 (理科室・音楽室・美術室・技術室・家庭科室 2 室・コンピュータ室・図書室・特別活動室 2 室・教育相談室) を使用し、人件費を含む管理運営費 9,077 千円を支出しています。生徒数は、2015(平成 27)年度に 78 人でしたが、2019(令和元)年度には 57 人に減少し、全ての学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 50 人になると見込まれています。

16 城川中学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	78	57	50
普通教室の推移	4(1)	5(2)	5(2)
特別教室の推移	14	11	11

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

17 三瓶中学校

校舎、体育館、プール専用付属室などを設置し、合計延床面積は 8,470 ㎡ (主な施設の構成は以下のとおり)。校舎は旧耐震基準で建設し、2010(平成 22)年度に耐震改修工事を実施していますが、老朽化が進んでいます。体育館は新耐震基準で建設しています。

【主な施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (㎡)	建築年	経過年数
特別教室棟	鉄筋コンクリート造 4階建	2,795	1977 (昭和 52) 年	45 年
管理棟	鉄筋コンクリート造 3階建	1,764	1977 (昭和 52) 年	45 年
普通教室棟	鉄筋コンクリート造 3階建	1,512	1976 (昭和 51) 年	46 年
技術教室棟	鉄筋コンクリート造 1階建	506	1977 (昭和 52) 年	45 年
体育館	木造 2階建	1,353	2008 (平成 20) 年	14 年

普通教室 6 室 (特別支援教室 2 室含む)、特別教室 25 室 (理科室 2 室・音楽室 2 室・美術室 2 室・技術室 2 室・家庭科室 3 室・視聴覚室 2 室・コンピュータ室・図書室・特別活動室 9 室・教育相談室) を使用し、人件費を含む管理運営費 13,553 千円を支出しています。生徒数は、2015(平成 27)年度に 141 人でしたが、2019(令和元)年度には 119 人と減少し、一部の学年で単学級となっています。2026(令和 8)年度には 97 人になると見込まれています。

17 三瓶中学校	2015年度 (平成27年度)	2019年度 (令和元年度)	2026年度 (令和8年度)
児童数の推移(人)	141	119	97
普通教室の推移	7(2)	6(2)	3
特別教室の推移	25	25	28

普通教室()は、特別支援学級数(内書)

【課題の整理】

学校規模については、国が定める基準（学校教育法施行規則）では、小・中学校とも 12 学級～18 学級を標準とされています。

また、学級編成について、公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律において、小学校については、1 学級あたりの児童数を、各学年 35 人、二つの学年の児童で編成する場合（以下「複式学級」という。）は 16 人（第 1 学年の児童を含む場合は 8 人）を標準とされています。中学校については、1 学級あたりの生徒数を、各学年 40 人、複式学級は 8 人を標準としています。

一方、「児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。」として、学校規模の適正化に関する考え方などをまとめた「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を平成 27 年に国が公表し、その中では、学年単学級のメリット・デメリット、小規模校のメリット・デメリットを示されています。

西予市の小中学校は、少子化により児童・生徒数が減少し、複式学級や複式学級には至っていないものの、1 学年が 10 人程度の学校もあります。また、複数の学級編成ができない中学校も生じています。

令和元年度において、小学校では、一つの学年で複数の学級編成が可能な学校が 3 校、単学級のみが 7 校、複式学級となっている学校が 2 校となっています。

中学校では、一つの学年で複数学級編成が可能な学校が 3 校、単学級のみが 2 校となっています。

これらの状況を踏まえ、明浜町、野村町、城川町、三瓶町の各地域では学校再編の取組により、適正規模・適正配置を進めてきましたが、宇和町地域においては今後の課題となっています。

施設については、今後も学校施設として使用する校舎等は、計画的な改修を行い、教育環境の維持向上を図るとともに、学校施設として使用しない場合の有効活用についても検討が必要です。

一方、学校は地域コミュニティの拠点と言われていながらも、地域住民等による利用は、体育館・グラウンドを活用した学校開放事業がほとんどとなっています。

地域とともにある学校づくりを目指して、2019（令和元）年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進しています。

さらに、西予市新・放課後子ども総合プラン行動計画に基づいて、学校の適正規模・適正配置や学校運営に支障がないことを前提として、学校施設と地域利用施設との複合化を検討します。

また、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い文部科学省から通知のあった「公立小中学校等施設におけるバリアフリー化の加速について」（令和 2 年 12 月 25 日付け 2 文科施台 348 号）において、バリアフリー化に関する整備目標が示されたことから、市内小中学校施設のバリアフリー化の整備を計画的に図っていきます。

ウ 基本方針と個別施設の方向性・年度スケジュール

【基本方針】

【機能】

義務教育である小中学校としての機能は継続します。

なお、児童数及び学級数の推移を精査し、子どもたちの教育環境の向上及び社会性の確保の観点から、宇和町地域の小学校については、適正規模・適正配置について検討します。

【建物】

今後も学校施設として使用する校舎・体育館で、建築から40年程度経過の建物については、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。50年を超える建物については、適正な規模での建て替えについて検討します。

校舎及び体育館の大規模改修及び建て替えにあたっては、学校が地域コミュニティの拠点としての位置づけであるという視点を踏まえ、教室の利用実態等を把握し、学校運営に支障のない範囲で、地域の実情を踏まえ他用途との複合化などを検討します。

その他の施設に関しては、必要な修繕を行って継続使用し、改修が必要となった段階で利用実態を精査し今後のあり方を検討します。

【管理運営】

各種保守点検業務等について、包括的な業務委託手法の導入について検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能 (ソフト)	建物 (ハード)		
1	明浜	俵津	明浜小学校	継続	維持 (長寿命化)		<p>【機能】児童数は77人で、各学年単学級で編成しているものの、明浜町地域で唯一の小学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は7年経過しています。体育館は39年経過し老朽化が進んでいます。今後も小学校として継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
2	宇和	多田	多田小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は60人で、各学年単学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から校舎は40年経過、体育館は39年経過し老朽化が進んでいます。上記の検討結果に基づき、今後も学校施設として継続使用する場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
3	宇和	中川	中川小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は145人で、各学年単学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から校舎は42年経過、体育館は39年経過し老朽化が進んでいます。上記の検討結果に基づき、今後も学校施設として継続使用する場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
4	宇和	石城	石城小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は61人で、各学年単学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から校舎は43年経過、体育館は41年経過し老朽化が進んでいます。上記の検討結果に基づき今後も学校施設として継続使用する場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
5	宇和	宇和	宇和町小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は476人で、各学年複数学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は33年経過、体育館は34年経過しています。上記の検討結果に基づき今後も学校施設として継続使用する場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能(ソフト)	建物(ハード)		
6	宇和	皆田	皆田小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は84人で、各学年単学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から校舎の一部は52年を経過し老朽化が顕著になっており、体育館は38年を経過し老朽化が進んでいます。上記の検討結果に基づき今後も学校施設として継続使用の場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
7	宇和	田之筋	田之筋小学校	継続	検討		<p>【機能】児童数は74人で、各学年単学級で編成しています。基本方針に示すように適正規模・適正配置について検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築からいずれも41年を経過し老朽化が進んでいます。上記の検討結果に基づき今後も学校施設として継続使用の場合は、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
8	野村	野村	野村小学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】児童数は309人で、各学年複数学級で編成しています。地理的要件を考慮し、野村町域内に必要な機能であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から校舎の一部は42年及び43年経過、体育館も43年経過し老朽化が進んでいます。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
9	野村	惣川	惣川小学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】児童数は6人で、複式学級となっています。地理的な要件から当面継続するものの、将来的には今後のあり方を検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築からいずれも18年経過しています。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
10	野村	大野ヶ原	大野ヶ原小学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】児童数は9人で、複式学級となっています。地理的な要件から当面継続するものの、将来的には今後のあり方を検討します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は14年経過しています。体育館は38年経過し老朽化が進んでいます。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
11	城川	魚成	城川小学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】児童数は87人で、各学年単学級で編成しているものの、城川町域で唯一の小学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は16年経過しています。体育館は37年経過し老朽化が進んでいます。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
12	三瓶	三瓶	三瓶小学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】児童数は222人で、一部の学年で単学級となっているものの、三瓶町域で唯一の小学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は8年経過、体育館は24年経過しています。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
13	明浜	俵津	明浜中学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】生徒数は45人で、各学年単学級で編成しているものの、明浜町域で唯一の中学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は34年経過、体育館は20年経過しています。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
14	宇和	宇和	宇和中学校(校舎)	継続	建替		<p>【機能】生徒数は458人で、各学年複数学級で編成しています。宇和町域で唯一の中学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、校舎の一部は建築から36～59年経過し老朽化が顕著となっています。体育館は12年経過しています。今後も機能を継続することから、校舎については適正な規模での建て替えを行います。体育館については、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
	宇和	宇和	宇和中学校(体育館)	継続	維持(長寿命化)		
15	野村	野村	野村中学校	継続	建替		<p>【機能】生徒数は171人で、各学年複数学級で編成しています。野村町域で唯一の中学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たしているものの、建築から49～50年以上経過し老朽化が顕著となっています。今後も機能を継続することから、当面は必要な修繕を行い継続使用し将来的には適正な規模での建て替えを進めます。</p>
16	城川	魚成	城川中学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】生徒数は57人で、各学年単学級で編成しているものの、城川町域で唯一の中学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から22年経過しています。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>
17	三瓶	三瓶	三瓶中学校	継続	維持(長寿命化)		<p>【機能】生徒数は119人で、一部の学年で単学級となっているものの、三瓶町域で唯一の中学校であり継続します。</p> <p>【建物】校舎、体育館とも耐震基準を満たし、建築から校舎は45～46年経過し老朽化が顕著となっています。体育館は14年経過しています。今後も機能を継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。</p>

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール											
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)		
○	基本方針 ・保全計画の策定 ・再編の検討 ・施設の複合化検討 ・管理運営手法			宇和町地域の将来を見通しての適正規模・適正配置の検討 保全計画の策定 複合化の検討 管理運営手法の検討							検討結果に基づく対応				
1	明浜小学校	継続	維持 (長寿命化)												
8	野村小学校	継続	維持 (長寿命化)	保全計画の策定			計画に基づく対応								
9	惣川小学校	継続	維持 (長寿命化)												
10	大野ヶ原小学校	継続	維持 (長寿命化)												
11	城川小学校	継続	維持 (長寿命化)												
12	三瓶小学校	継続	維持 (長寿命化)												
13	明浜中学校	継続	維持 (長寿命化)												
14	宇和中学校 (体育館)	継続	維持 (長寿命化)												
16	城川中学校	継続	維持 (長寿命化)												
17	三瓶中学校	継続	維持 (長寿命化)												
14	宇和中学校 (校舎)	継続	建替	校舎建て替えの検討			検討結果に基づく対応								
15	野村中学校	継続	建替	必要な修繕を行い継続使用						建替の検討				検討結果に基づく対応	
2	多田小学校	継続	検討												
3	中川小学校	継続	検討												
4	石城小学校	継続	検討	適正規模・適正配置の検討							検討結果に基づく対応				
5	宇和町小学校	継続	検討												
6	皆田小学校	継続	検討												
7	田之筋小学校	継続	検討												

エ 将来の概算事業費と効果額

校舎

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型 現状維持 した場合	長寿命型 本計画を実施 した場合	単年度の比較		
					現状維持 した場合	本計画を実施 した場合	
1	明浜小学校	維持(長寿命化)	1,136,792	1,163,500	7,823	7,823	
2	多田小学校(管理教室棟)	検討			7,026	7,026	
3	中川小学校(管理教室棟)	検討			12,748	12,748	
4	石城小学校(管理教室棟)	検討			12,423	12,423	
5	宇和町小学校(校舎棟)	検討			20,086	20,086	
	宇和町小学校(校舎棟)	検討			0	0	
	宇和町小学校(校舎棟)	検討			0	0	
6	皆田小学校(教室棟)	検討			8,193	8,193	
	皆田小学校(教室棟)	検討			0	0	
7	田之筋小学校(校舎棟)	検討			6,520	6,520	
8	野村小学校(特別教室棟・管理棟)	維持(長寿命化)	2,725,592	2,525,064	20,054	20,054	
	野村小学校(普通教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	
	野村小学校(普通教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	
9	惣川小学校(校舎)	維持(長寿命化)	254,830	605,006	6,988	6,988	
	惣川小学校(給食室)	維持(長寿命化)			0	0	
10	大野ヶ原小学校(校舎)	維持(長寿命化)	344,490	350,873	5,473	5,473	
	大野ヶ原小学校(給食室)	維持(長寿命化)			0	0	
11	城川小学校(校舎)	維持(長寿命化)	880,940	1,409,691	8,936	8,936	
	城川小学校(給食室)	維持(長寿命化)			0	0	
12	三瓶小学校(普通教室棟)	維持(長寿命化)	1,474,802	1,710,431	18,628	18,628	
	三瓶小学校(管理特別教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	
13	明浜中学校(教室棟)	維持(長寿命化)	2,075,660	1,378,121	7,599	7,599	
	明浜中学校(地域学校連携施設)	維持(長寿命化)			0	0	
14	宇和中学校(特別教室棟)	維持(長寿命化)	4,152,600	3,401,706	19,421	19,421	
	宇和中学校(管理教室棟)	建替			0	0	
	宇和中学校(教室棟)	建替			0	0	
	宇和中学校(教室棟)	建替			0	0	
	宇和中学校(特別教室棟)	建替			0	0	
15	野村中学校(特別教室棟)	建替	3,555,875	3,404,363	20,274	20,274	
	野村中学校(普通教室棟)	建替			0	0	
	野村中学校(管理棟)	建替			0	0	
	野村中学校(技術棟)	建替			0	0	
16	城川中学校(教室棟)	維持(長寿命化)	2,808,000	1,624,512	9,077	9,077	
	城川中学校(教室・給食棟)	維持(長寿命化)			0	0	
	城川中学校(管理棟)	維持(長寿命化)			0	0	
17	三瓶中学校(技術教室棟)	維持(長寿命化)	3,765,010	3,451,388	13,553	13,553	
	三瓶中学校(特別教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	
	三瓶中学校(管理棟)	維持(長寿命化)			0	0	
	三瓶中学校(普通教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	
	三瓶中学校(普通教室棟)	維持(長寿命化)			0	0	

体育館

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持した場合	本計画を実施した場合	現状維持した場合	本計画を実施した場合	
1	明浜小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
2	多田小学校屋内運動場	検討			0	0	
3	中川小学校屋内運動場	検討			0	0	
4	石城小学校屋内運動場	検討			0	0	
5	宇和町小学校屋内運動場	検討			0	0	
6	皆田小学校屋内運動場	検討			0	0	
7	田之筋小学校屋内運動場	検討			0	0	
8	野村小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
9	惣川小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
10	大野ヶ原小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
11	城川小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
12	三瓶小学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
13	明浜中学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
14	宇和中学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
15	野村中学校屋内運動場	建替			0	0	
16	城川中学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
17	城川中学校柔剣道場	維持(長寿命化)			0	0	
18	三瓶中学校屋内運動場	維持(長寿命化)			0	0	
概算事業費(合計)			23,174,591	21,024,655	204,822	204,822	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②-①		単年度の維持管理 経費の比較④-③	
▲ 2,149,936		0	

5 学校教育系施設

(2) 給食施設

学校給食法の規定に基づき、衛生的で栄養バランスの取れた食事を提供することにより、児童生徒の健康の保持・増進と食育の推進を図ることを目的に、市内に3つの給食センターを設置しています。

このほか、自校調理の調理場2施設（大野ヶ原小学校・惣川小学校）を設置しています。

ア 施設概要（経過年数は令和4（2022）年3月31日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元（2019）年度の実績。）

番号	地域	地区	施設名	基本情報													
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積(m ²)	耐震性	貸室稼働率(%)	管理運営	職員数(人)	支出(千円)	収入(千円)	調理食数(日平均)	備考	施設番号
1	宇和	宇和	せいよ西学校給食センター		S	2017	5	2,103.30	○	-	直営	県1・正3・非23	82,614	0	319,200 (1,680)		2019
2	野村	野村	せいよ東学校給食センター		S	2020	2	1,035.98	○	-	直営	県1・正3・非16	69,631	0	134,710 (709)	R3予算額	22194
3	三瓶	三瓶	三瓶学校給食センター		S	1995	27	847.00	○	-	直営	県1・正1・非8	34,410	0	73,340 (386)		320

*施設の収支は令和元(2019)年度の状況を示すことにしていますが、せいよ東学校給食センターは、2020年11月に建設しており、例外的に記述します。
支出額や調理食数については、令和3年度予算の数値を記載しています。

イ 現状と課題

西予市の学校給食は一部の学校を除きセンター方式で実施し、原則として幼稚園・小中学校の開業日に調理を行い、年間稼働日数は平均190日、稼働時間は7時30分～17時15分までで、年間延べ調理食数は約527,250食、1日当り調理可能数4,100食に対して実際の調理数は約2,775食（約68%）となっています。

調理業務・配送業務はすべて市が直営で行い、人件費を含む管理運営費の総額は186,655千円で、学校給食法では、管理運営に要する経費については公費負担、食材料費については保護者負担となっており、西予市の場合、私会計方式により給食費を徴収管理しているため市予算の収入はありません。施設は、すべて耐震基準を満たしています。

【各施設の状況】

1 せいよ西学校給食センター

給食センター・車庫・ポンプ室などを設置し、合計延床面積は2,103㎡。このうち給食センターは、鉄骨造2階建て・延床面積1,952㎡で、2017（平成29）年に新耐震基準で建設し、建築から5年経過しています。

施設は、荷受室・下処理室・調理室・器具洗浄室・食品庫・洗浄室・コンテナプールなどで構成。1日の調理能力2,000食に対して実際の調理食数は1,680食（84%）で、明浜・宇和地域の小学校7校、中学校2校に提供しています。

管理運営費は、人件費や施設の維持管理費をあわせて82,614千円となっています。

2 せいよ東学校給食センター

給食センター・車庫・ポンプ室などを設置し、合計延床面積は1,035㎡。このうち給食センターは、鉄骨造2階建て・延床面積971㎡で、2020（令和2）年に新耐震基準で建設し、建築から2年経過しています。

施設は、荷受室・下処理室・調理室・器具洗浄室・食品庫・洗浄室・コンテナプールなどで構成。1日の調理能力900食に対して実際の調理食数は709食（79%）で、野村・城川地域の幼

稚園1園、小学校2校、中学校2校に提供しています。

管理運営費（令和3年度予算額）は、人件費や施設の維持管理費をあわせて69,631千円となっています。

3 三瓶学校給食センター

給食センター・車庫を設置し、合計延床面積は847㎡。このうち給食センターは、鉄骨造2階建て・延床面積772㎡で、1995（平成7）年に新耐震基準で建設し、建築から27年経過しています。

施設は、検収室・下処理室・調理場・食品庫・ボイラー室などで構成。1日の調理能力1,200食に対して実際の調理食数は386食（32%）で、三瓶地域の小学校1校、中学校1校に提供しています。

管理運営費は、人件費や施設の維持管理費を合わせて34,410千円となっています。

【課題の整理】

給食施設は、学校給食法に基づき学校給食を調理・提供する機能として今後も必要なものの、1日あたりの調理可能数に対する実際の調理数をみると、約32%～84%（全体で約65%）となっています。

今後も児童生徒数の減少が見込まれるなか、地理的な状況を勘案しながら、給食施設の集約化の検討が必要です。

施設については、すべての施設で耐震基準を満たしているものの、設備機器の更新時期を迎える施設もあることから、今後のあり方について検討が必要です。

調理業務・配送業務は、すべての施設で様々な雇用形態のもと直営で行っています。調理員の安定確保も課題となっていることから、食の安全性の確保を前提に、民間活力の活用についての検討が必要です。

ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

【基本方針】

【機能】【建物】

学校給食法に基づき学校給食を調理・提供する機能として今後も継続します。

なお、学校施設の統廃合の状況や、設備機器の更新の時期、児童生徒数の推移を精査し、将来的な施設の規模・配置のあり方について検討します。

学校教育系施設の学校施設に属する自校調理の調理場2校（大野ヶ原小学校・惣川小学校）については、地理的なことも考慮して今後も現行方式での学校給食を継続します。

【管理運営】

調理及び配送業務について、民間活力の活用について検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能（ソフト）	建物（ハード）		
1	宇和	宇和	せいの西学校給食センター	継続	維持（長寿命化）		新耐震基準を満たし、建築から5年経過しています。今後も継続使用することから、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
2	野村	野村	せいの東学校給食センター	継続	維持（長寿命化）		新耐震基準を満たし、建築から2年経過しています。今後も継続使用することから、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
3	三瓶	三瓶	三瓶学校給食センター	継続・検討	維持（修繕） ・検討		新耐震基準を満たし、建築から27年経過しています。当面、必要な修繕を行い継続して使用しますが、設備機器の更新時期や児童生徒数の推移を精査し、今後のあり方について検討します。

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)
○	基本方針 ・施設の規模・配置のあり方検討 ・管理運営手法の検討			<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合の状況 ・児童生徒数の動向を精査 ・今後のあり方の検討 ・民間活力を活用した管理運営手法の検討 									
1	せいよ西学校給食センター	継続	維持 (長寿命化)										
2	せいよ東学校給食センター	継続	維持 (長寿命化)										
3	三瓶学校給食センター	継続・検討	維持(修繕) ・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器の更新時期の検証 ・児童生徒数の推移の精査 ・施設の規模・配置のあり方検討 									

エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持した場合	本計画を実施した場合	現状維持した場合	本計画を実施した場合	
1	せいよ西学校給食センター	維持(長寿命化)	353,286	582,921	82,614	82,614	
2	せいよ東学校給食センター	維持(長寿命化)	165,226	272,624	69,631	69,631	
3	三瓶学校給食センター	維持(修繕)・検討	386,000	216,546	34,410	34,410	
概算事業費(合計)			904,512	1,072,091	186,655	186,655	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②-①		単年度の維持管理 経費の比較④-③	
167,579		0	

5 学校教育系施設

(3) その他教育施設

へき地にある小学校に勤務する教職員へ宿舎を提供するとともに、小中学校から遠隔地に居住する児童生徒の利便性を確保し、義務教育の円滑な運営を図るため、寄宿舎や教職員宿舎、スクールバス車庫等を3施設設置しています。

ア 施設概要 (経過年数は令和4(2022)年3月31日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元(2019)年度の実績。)

番号	地域	地区	施設名	基本情報													
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積(m ²)	耐震性	貸室稼働率(%)	管理運営	職員数(人)	支出(千円)	収入(千円)	利用者数(人)(日平均)	備考	施設番号
1	野村	野村	寮大樹		W	2000	22	440.00	○	-	直営	非4	5,036	0	3/14	野村中学校寄宿舎	337
2	野村	大野ヶ原	大野ヶ原教職員宿舎		W	2002	20	284.00	○	-	直営		282	420	5戸/5戸	入居戸数/管理戸数	329
3	三瓶	三瓶	西予市スクールバス事務所		S	2014	8	257.53	○	-	直営		149	46	-		338

イ 現状と課題

3施設は、いずれも新耐震基準で建設し、市が直営で管理運営しています。

【各施設の状況】

1 寮大樹(野村中学校寄宿舎)

木造2階建て・延床面積440㎡で、2000(平成12)年に新耐震基準で建設し、建築から22年経過しています。

施設は、居室、舎監室、調理室、食堂会議室、多目的集会室などで構成。利用生徒数は3人で、人件費を含む管理運営費5,036千円を支出し、収入はありません。

2 大野ヶ原教職員宿舎

木造1階建て・延床面積284㎡で、2002(平成14)年に新耐震基準で建設し、建築から20年経過しています。管理戸数は5戸で、5戸に入居し、維持管理費(法定点検及び修繕料等)282千円を支出し、住宅使用料として420千円の収入があります。

3 西予市スクールバス事務所

車庫と事務所を設置し、合計延床面積は257㎡。このうち車庫は鉄骨造1階建て・延床面積244㎡、事務所は木造1階建て・延床面積13㎡で、いずれも2014(平成26)年に新耐震基準で建設し、建築から8年経過しています。

車庫にはスクールバス4台を駐車し、維持管理費(光熱水費等)149千円を支出し、自動販売機の電気料として46千円の収入があります。

【課題の整理】

山間へき地に勤務する教職員や通学する児童生徒の利便性を確保するうえで欠かせない機能・施設であり、継続使用するための改修が必要です。

ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

【基本方針】

【機能】【建物】

山間へき地に勤務する教職員や、通学する児童生徒の利便性を確保するため、寄宿舎や教職員宿舎、スクールバス関連施設について、必要な改修を行い継続使用します。

【管理運営】

教職員宿舎、寄宿舎の効果的かつ効率的な管理運営手法を検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能(ソフト)	建物(ハード)		
1	野村	野村	寮大樹(野村中学校寄宿舎)	継続	維持(改修)		耐震基準を満たし、建築から22年経過しています。野村中学校区域の遠隔地から通学する生徒の利便性を確保するため、必要な改修を行い、継続使用します。
2	野村	大野ヶ原	大野ヶ原教職員宿舎	継続	維持(改修)		耐震基準を満たし、建築から20年経過しています。山間地域に勤務する教職員の住居を確保するため、必要な改修を行い、継続使用します。
3	三瓶	三瓶	西予市スクールバス事務所	継続	維持(改修)		耐震基準を満たし、建築から8年経過しています。三瓶小中学校のスクールバスの運行に欠かせないことから、必要な改修を行い継続使用します。

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能(ソフト)	建物(ハード)	R5年度(1年目)	R6年度(2年目)	R7年度(3年目)	R8年度(4年目)	R9年度(5年目)	R10年度(6年目)	R11年度(7年目)	R12年度(8年目)	R13年度(9年目)	R14年度(10年目)
○	基本方針 ・管理運営手法の検討			効果的、効率的な管理運営手法の検討				検討結果に基づく対応					
1	寮大樹(野村中学校寄宿舎)	継続	維持(改修)	必要な改修を行い継続使用									
2	大野ヶ原教職員宿舎	継続	維持(改修)	必要な改修を行い継続使用									
3	西予市スクールバス事務所	継続	維持(改修)	必要な改修を行い継続使用									

エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持した場合	本計画を実施した場合	現状維持した場合	本計画を実施した場合	
1	寮大樹(野村中学校寄宿舎)	維持(改修)	220,000	145,200	5,036	5,036	
2	大野ヶ原教職員宿舎	維持(改修)	48,280	117,150	282	282	
3	西予市スクールバス事務所	維持(改修)	41,480	68,442	149	149	
概算事業費(合計)			309,760	330,792	5,467	5,467	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②-①		単年度の維持管理 経費の比較④-③	
21,032		0	